

# 株式会社レスターホールディングス

2023年3月期  
決算補足説明資料

2023年5月12日



2023年 3 月期  
連結業績ハイライト（累計）



# 業績ハイライト

1. 売上、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、[いずれも2019年統合以来過去最高](#)
2. 2022年11月10日公表の[上方修正内容を上回る結果](#)
3. 好業績の結果、[2023年3月期の期末配当を増配](#)

➤ 売上高

半導体市況の需給状況の強弱があるなか、主に産業機器や車載機器向けなどの堅調な需要により、半導体及び電子部品事業や調達事業が好調に推移し増収（前年同期比 21.9%増）

➤ 営業利益

主に円安や増収に伴う売上総利益の増加により増益（前年同期比 90.1%増）

➤ 経常利益

支払利息の増加や期後半の円高局面による為替差損を計上したものの増益（前年同期比 79.4%増）

➤ 親会社株主に帰属する当期純利益

前年同期には株式会社PALTEK及びその関連会社を連結子会社化したことに伴う負ののれん発生益を特別利益に計上していた一過性要因が剥落したことや、当連結会計年度において特別調査費用等、投資有価証券評価損、植物工場事業などにおける減損損失などを特別損失として計上したものの増益（前年同期比 18.9%増）



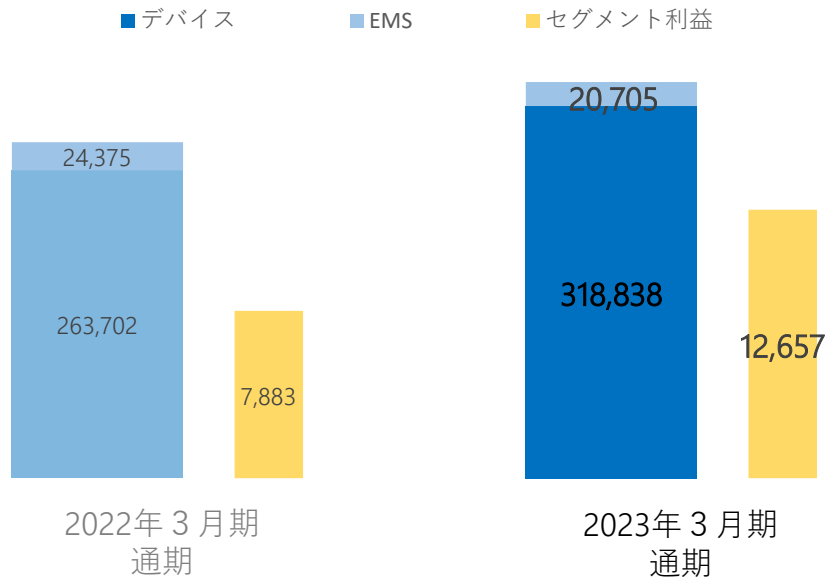
# 連結業績

単位：百万円	2022年3月期 通期		2023年3月期 通期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	399,590	—	487,129	—	87,538	21.9%
売上総利益	30,183	7.6%	40,484	8.3%	10,301	34.1%
販売管理費	22,595	5.7%	26,061	5.3%	3,466	15.3%
営業利益	7,588	1.9%	14,423	3.0%	6,834	90.1%
経常利益	6,711	1.7%	12,043	2.5%	5,332	79.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,957	1.5%	7,085	1.5%	1,127	18.9%



# 半導体及び電子部品事業

(単位：百万円)



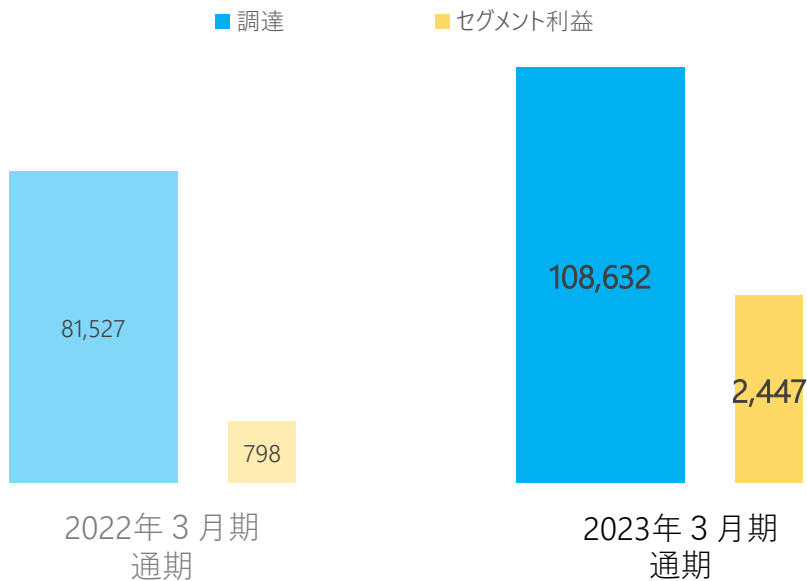
## 【ポイント】

- デバイス  
民生機器向けなどが調整局面に入ったものの、産業機器・車載機器向けなどの販売は引き続き堅調に推移  
また、株式会社P A L T E Kの売上伸長や新たな商材並びに顧客展開が進展したこともあり増収
- EMS  
車載用ディスプレイ向けなどの新規事業が拡大しているものの、主力のスマートフォン向け市況の低迷に伴い減収
- セグメント利益  
E M S 事業の減益があったが、デバイス事業における円安影響並びに増収により増益



# 調達事業

(単位：百万円)

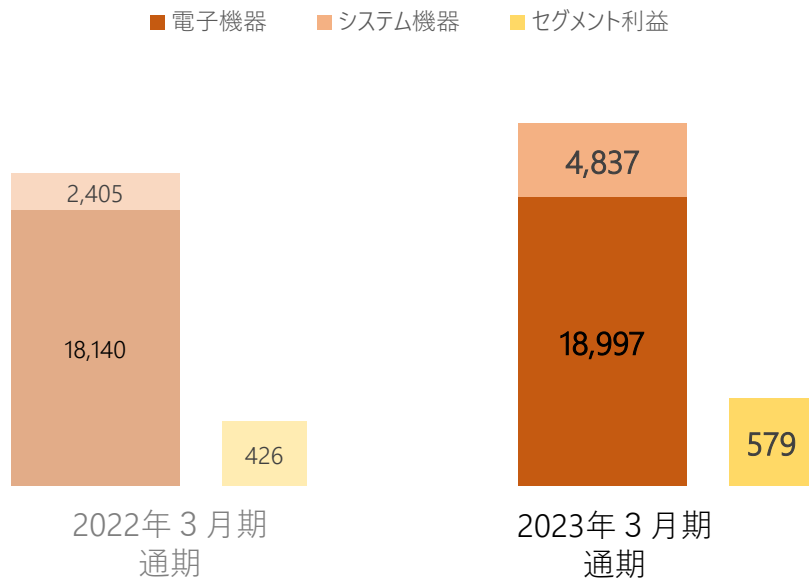


## 【ポイント】

- 調達  
パナソニックグループ向け、及びパナソニックグループ向け以外のそれぞれの新規取引の拡大が継続し増収
- セグメント利益  
為替影響に加え、増収並びに販売管理費の抑制により増益

# 電子機器事業

(単位：百万円)



## 【ポイント】

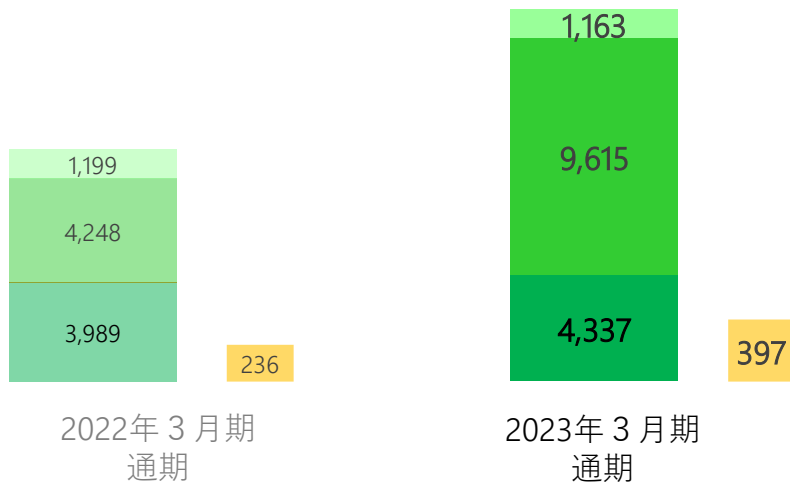
- 電子機器  
半導体不足による機材調達難が続いたものの、オフィスの移転及びリニューアルによるICT関連機器やLEDビジョンの販売など徐々に市況の回復もありやや増収
- システム機器  
カードサービス株式会社を連結子会社化したことによる海外製決済端末の売上増加、並びにマイナンバー個人認証関連製品やオフィス向け出入管理端末の需要増加により増収
- セグメント利益  
増収により増益



# 環境エネルギー事業

(単位：百万円)

■ エネルギー ■ 新電力 ■ 植物工場 ■ セグメント利益



## 【ポイント】

### ・ エネルギー

国内外の太陽光、並びに国内風力発電所新設による発電量の増加などに伴い増収

	21FY Q 4	22FY Q 4	YoY		
エネルギー事業(百万円) (新電力への売上含む)	5,225	5,428	204	3.9%	
太陽光発電量 (MW)	国内	147	151	4	2.5%
	海外	24	34	10	39.1%
	合計	172	185	13	7.6%

### ・ 新電力

燃料調整費の高騰により大幅な増収

### ・ 植物工場

販売先の見直しや新製品の量産遅延による減収がありながらも、一部製品の出荷増があり微減収

### ・ セグメント利益又は損失

植物工場事業の減収及び電気代の影響などによる損失はあったが、エネルギー事業が堅調に推移したことや、新電力事業が所有する火力発電所の稼働寄与もあり増益



# 連結貸借対照表

増収に伴う売掛金、棚卸資産の増加、短期・長期借入金の増加等

(単位：百万円)

	2022年3月末	2023年3月末
資産の部		
流動資産	185,525	209,142
固定資産	56,432	58,611
資産合計	241,958	267,754
負債純資産の部		
流動負債	139,346	160,766
固定負債	20,954	21,892
純資産	81,657	85,095
負債純資産合計	241,958	267,754
自己資本比率	32.1%	30.2%



# キャッシュフロー

(単位：百万円)

現金及び現金同等物の期首残高 33,438

■ 営業活動によるCF  $\triangle 664$

> 主に税金等調整前当期純利益、減価償却費、棚卸資産、未払金の増加

■ 投資活動によるCF  $\triangle 5,304$

> 主に有形固定資産の取得による支出、及び売却による収入、定期預金の預入による支出

■ 財務活動によるCF 3,713

> 主に短期借入金の純増加、長期借入金の収入と返済、配当金の支払

■ 換算差額等 800

現金及び現金同等物の期末残高 31,984

# 増配のお知らせ

## 期末配当：好業績に伴う増配

- ・配当の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

### 1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	合計
前回配当予想 (2022年11月10日公表)	40円00銭	60円00銭	100円00銭
今回配当予想 (2023年5月12日公表)	40円00銭	<u>75円00銭</u>	<u>115円00銭</u>

詳細については、本日別途開示いたしました「2023年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。なお、期末配当については資本剰余金を原資とします。純資産減少割合については現在計算中であり、剰余金の配当の決定の際に開示いたします。



# 2024年3月期通期見通し①

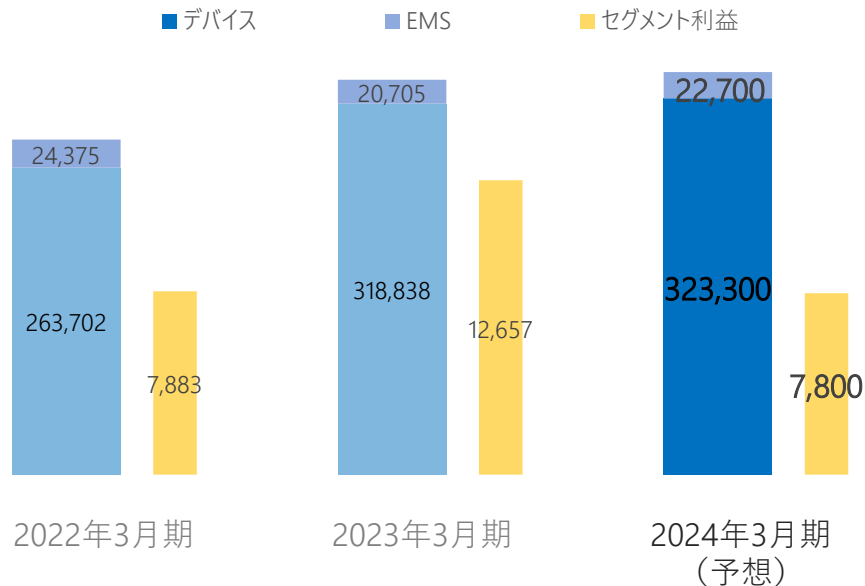
単位：百万円	2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	前期比
	金額	金額	
売上高	487,129	500,000	2.6%
営業利益	14,423	10,000	△30.7%
経常利益	12,043	7,000	△41.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,085	7,000	△1.2%

## ■ 2024年3月期見通しポイント

- ・ 不透明感あるものの“半導体及び電子部品事業”及び“調達事業”は堅調に推移する見込み
- ・ “電子機器事業”と“環境エネルギー事業”は、市況回復に伴う増収見込み
- ・ 営業利益は為替影響など特殊要因を除いたため減益予想
- ・ なお、本社社屋売却における特別利益は通期見通しに反映済み

# 2024年3月期通期見通し②

## ■半導体及び電子部品事業



### 【2023年度重点施策】

- デバイス
  - E V・I o T・A I 関連分野の事業拡大
  - グローバル展開に向けた取り組み加速
- EMS
  - 生産ラインの合理化／集中と選択
  - 車載向けなど新規事業の拡大

### 事業概況

デバイス

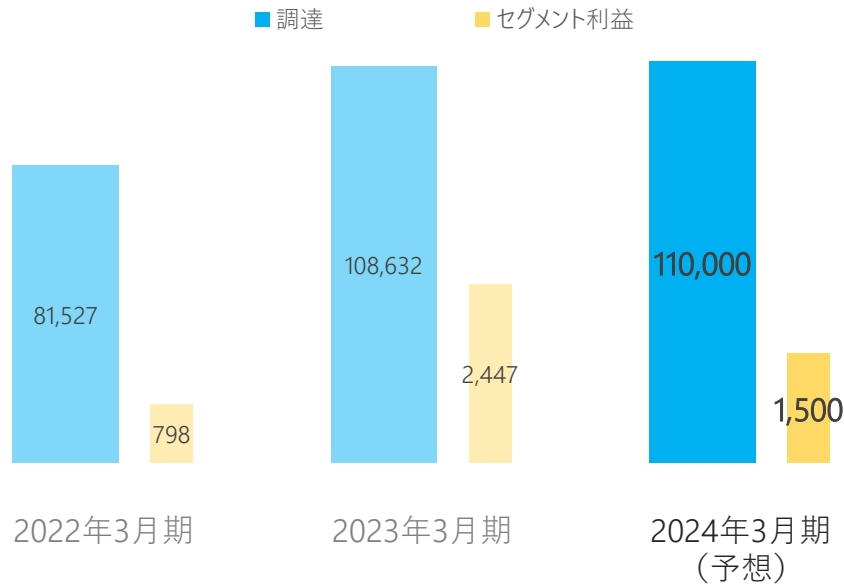
上期は市況動向を慎重に見込みながら  
下期回復を予想

EMS

引き続きスマートフォン市況が弱含むもの  
の車載関連製品による事業拡大図る

# 2024年3月期通期見通し③

## ■調達事業



### 【2023年度重点施策】

- S C Mを基盤とした新たなサービス・付加価値提供による事業拡大

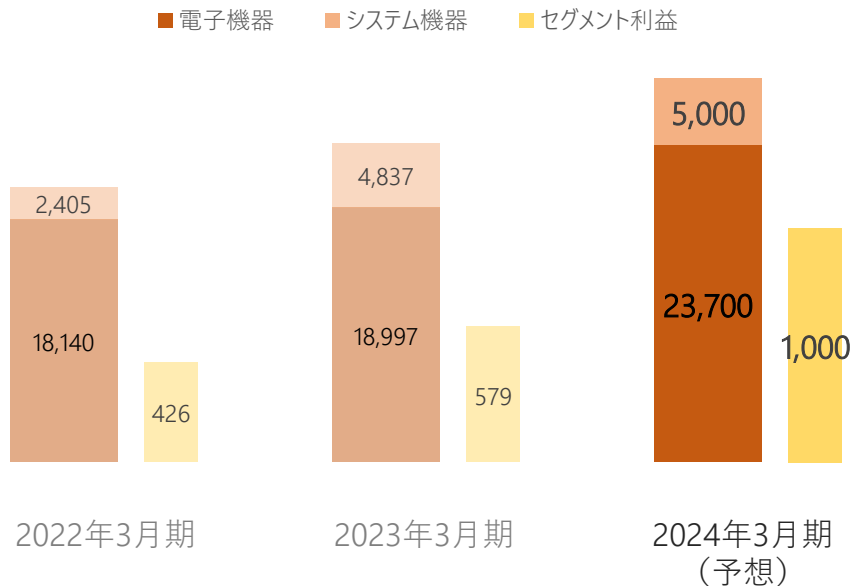
### 事業概況

#### 調達

- 新規商材の取り扱いや新規顧客展開などによる事業拡大図る
- サプライチェーンマネジメントにおける顧客価値創出と付加価値拡大

# 2024年3月期通期見通し④

## ■ 電子機器事業



### 【2023年度重点施策】

- 電子機器  
顧客ニーズの先取りと付加価値創出によるシェアアップ
- システム機器  
製品モデルミックスの改善による収益性向上

### 事業概況

#### 電子機器

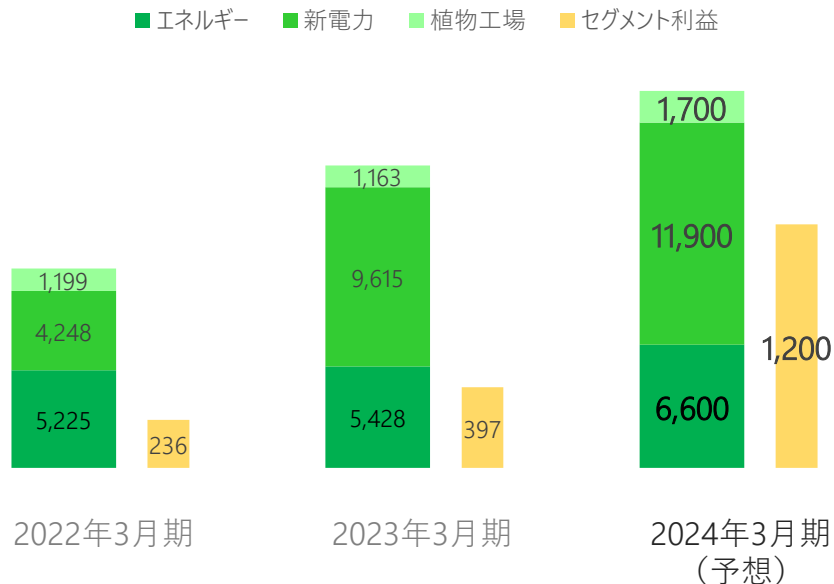
- 半導体市況回復に伴う商材確保が進むことによる増収
- オフィス移転などの需要増に伴う受注確保

#### システム機器

マイナンバー顔認証機器の特需剥落に対する既存商材と新たな商材展開

# 2024年3月期通期見通し⑤

## ■環境エネルギー事業



### 【2023年度重点施策】

- エネルギー
  - 再エネ事業の継続的拡大
  - 新たな事業領域の具現化
- 新電力
  - 地産地消型の電力供給事業の推進・拡大
- 植物工場
  - 生産効率アップと利益を伴う売上の拡大

### 事業概況

エネルギー	引き続き太陽光発電の増設など計画的な事業拡大を図る
新電力	電力の市場価格への継続的な対応と電力の地産地消など新たな取り組み推進
植物工場	新製品開発と量産化対応による収益改善



# 株主還元方針

## 連結業績予想に基づき財務の安定性を重視

- ・配当の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2024年3月期予想	55円00銭	60円00銭	115円00銭



# レスターグループ 経営理念

## ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、  
社会の発展に貢献します

## ビジョン

あらゆるニーズに対応できる  
「エレクトロニクスの情報プラットフォーム」を目指します  
世界・社会貢献・共創と革新

## バリュー

- ・多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します



## エレクトロニクスの情報プラットフォーム

世界中の課題を解決する。

革新的ビジネス  
の創出

情報×技術  
付加価値の向上

事業間シナジー

多様な事業展開

1. 脱炭素社会に向け加速：PPA提供開始
2. 首都圏拠点集約：グループシナジー加速
3. 2023年度各事業重点施策

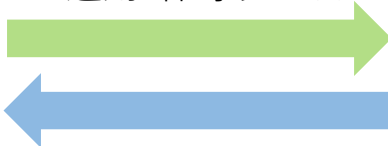
# 1. 脱炭素社会に向け加速：PPA提供開始

## PPA（電力購入契約）サービスを提供開始

エネルギー事業



運用・保守サービス



電気利用料

導入企業



- 発電効率を最大化する運用・保守
- 導入企業の敷地内に発電設備設置

- 初期投資、メンテナンス費用不要
- 太陽光発電の電力を自家消費しCO<sub>2</sub>排出量を削減

導入企業（需要家）の脱炭素への取り組みを支援

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://pdf.irpocket.com/C3156/bU43/Dcu2/sgbA>

## 2. 首都圏拠点集約：グループシナジー加速



東京都港区港南二丁目 10 番 9 号

2023年2月 第1弾 首都圏事業会社移転  
2023年上期予定 第2弾 本社移転

### 首都圏拠点集約

- レスターらしい働き方改革、原則出社に切り替え
- 一層のコミュニケーション活性化、共感・共有によるスピード加速
- 拠点集約によるリソース最適化
- スマートビルへの取り組み（ビジネスモデル創出）
- 脱炭素に配慮したよりサステナブルな事業環境

# 3. 2023年度各事業重点施策

	成長への取り組み	2023年度重点施策
デバイス	車載・産機・新規ソリューションへの注力	<ul style="list-style-type: none"><li>・EV・IoT・AI関連分野の事業拡大</li><li>・グローバル展開に向けた取り組み加速</li></ul>
EMS	顧客基盤の拡大と事業構造の変革	<ul style="list-style-type: none"><li>・生産ラインの合理化／集中と選択</li><li>・車載向けなど新規事業の拡大</li></ul>
調達	顧客の調達部門とSCMの共創	<ul style="list-style-type: none"><li>・SCMを基盤とした新たなサービス・付加価値提供による事業拡大</li></ul>
電子機器	事業構造の変革とグループシナジーを活かした事業拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・顧客ニーズの先取りと付加価値創出によるシェアアップ</li></ul>
システム機器	決済端末を中心としたフィンテック事業への取り組み強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・製品モデルミックスの改善による収益性向上</li></ul>
エネルギー	環境事業のシナジー創出による事業拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・再エネ事業の継続的拡大</li><li>・新たな事業領域の具現化</li></ul>
新電力	電力小売りから自治体向けソリューション提供事業の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・地産地消型の電力供給事業の推進・拡大</li></ul>
植物工場	植物工場野菜の競争力強化と高付加価値製品への挑戦	<ul style="list-style-type: none"><li>・生産効率アップと利益を伴う売上の拡大</li></ul>

## <お問い合わせ先>

レスターホールディングス 広報・IR部

Mail to : [irpr@restargp.com](mailto:irpr@restargp.com)

---

### <将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動並びに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

